



『エンジョイ・ロータリー・ライフ』

～Enjoy Rotary Life～

東京六本木ロータリークラブ会長

T O K Y O ROPPONGI ROTARY CLUB

W E E K L Y R E P O R T

東京六本木ロータリークラブ



『ロータリーの未来は
あなたの手に』

～The Future of Rotary is
in Your Hands～
国際ロータリークラブ会長

発行日 2009年10月26日

No. 13

本日のプログラム

平成21年10月26日

『クラブ協議会』

クラブからのお知らせ [10月19日例会]

●会長

連休があり久しぶりの例会です。

本日の卓話は日本の元気の源のような平野様です。どうぞ宜しくお願い致します。

●幹事

- 来週の会場変更についてのお知らせ。(ヒルズクラブ)
- 来週11時から理事会を開催致します。(ヒルズクラブ)
- 来週はクラブ協議会となります。
- 東京城西・東京西南・東京杉並RC共催バルカン室内管弦楽団のコンサートのお知らせ。

●親睦活動委員会

- 文化を楽しむ秋のスペシャルイベントを行います。
10月26日(月)六本木ヒルズ51階での例会後、53階『森美術館』に移動して『AI WEIWEI 艾未未』展を森美術館学芸員より説明を伺いながら鑑賞致します。

●ワイン同好会

- 10月26日(月)19時より表参道bambooにて、
ワインを楽しむ会を行います。



大橋寛治さん、篠塚博さん、齋藤明子さんの
皆出席の発表がありました



東京六本木ロータリークラブ

TOKYO
ROPONGI
ROTARY CLUB

平成21年9月28日
卓話 『いけること いかすこと』

華道家元池坊 次期家元

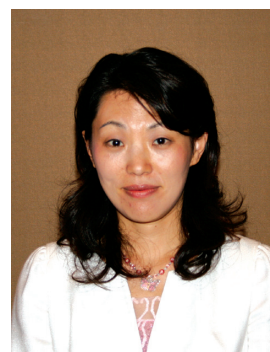
池坊 由紀 様

生け花はほとんどの方がご覧になったことが
おありだと思いますけれども、どのような精神
に基づいているかということあまり知られて
いないように思います。今日はそういったお話
をしたいと思います。

生け花はいくつかの約束事、型を持っていま
す。一種の様式美であるとも言えます。生ける
ことについて定義づけたのが1500年代に活躍
した池坊専応です。それ以前の生け花は美しい
花を持って来て競い合う、高価な器を比べあっ

て誰が力が強いかを
比較するといった側
面がございました。
専応はそういう世俗
的な価値観を離れて、
植物の姿、個性を見
極めて最大限に生か
すこと、そして花を
生かすことで自分自
身も心を高めること
が生け花であると定
義しました。私どもはその心を今でも生け花の
心として伝えております。

生け花の約束事の一つとして陰陽思想が挙げ
られます。この世のものは陰と陽がひとつに調
和してなっているという考え方です。生け花の
空間分割を見ていただくと、すべて均等に分割
するということはしていません。空間の大きい



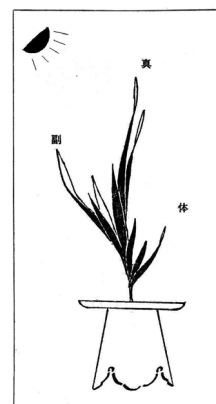
専応口伝



専好立花図



陰陽、生花正風体





所、小さい所、使っている花材も大きい花もあれば小さな花もあるというふうに、それぞれ相反するものを持ってきて、そこで絶妙なバランスをだす。お互いがお互いを引き立て合っているところに調和があり美があるという考えです。

また立花という形が大自然の縮図を表わしていて、足元の部分が命が始まろうとしている源であるという考えから、必ず足元のところは1本にぐっと締まってないといけないんですね。また生け花では通常花のない緑のもの、プラス花のあるものを加えて一つの作品とします。花のない所に花を添えることで陰陽が完結するという考え方です。また木のものと草のものを生けるときは必ず木のものは後ろに挿し、草のものは前に挿します。木は過去、遠い景色を表し、草はワンシーズンで枯れてしまうものですから今現在のこと、また近い景色を象徴しているという考えです。また生ける草木の総本数は奇数

でなくてはなりません。偶数と比べて奇数は1つ欠けている。それは可能性を秘めているという考えです。植物がぐんぐん伸びていく、そういう命のあり様に日本人が期待をかける思いが込められています。

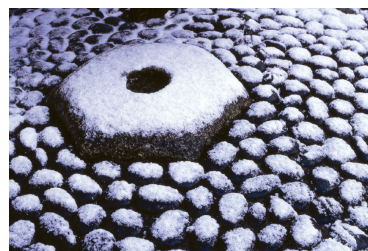
生け花は床の間に飾られる花として、芸術的にも美術的にも進展してきました。掛け軸との関係性、香炉やロウソクとの関係、それからどちらから光が入ってくるかということを重視しました。そういう先人が残した美意識、思想に加えて、現代を生きる私たちが自分自身の感性でまた一つの作品を作り上げることができる。そういう所に面白さ、魅力があると思います。生け花が絶えることなく500年以上続いてきたのは、芸術性の高さプラスそういう精神の独自性があったからではないかと思います。ご静聴ありがとうございました。



立花新風体



六角堂



へそ石



写真左より、平松さん、松木さん、三田さん、山中会長

10月お誕生月の会員

- ★ 中島 信二さん（例会は欠席）
- ★ 平松 和也さん
- ★ 三田 大介さん
- ★ 松木 隆央さん
- ★ 門田 真乍子さん（例会は欠席）





ニコニコBOX情報

工藤 一枝さん

平野先生のお話を楽しみに致しております。

小西 恭子さん

先週結婚記念日でした。

松本 隆央さん

納涼夜間例会欠席分の返金があり、ニコニコの松島委員長に見つかってしまいました。喜んでニコニコへ寄付します。

宇佐見 千嘉さん

紅葉も色増して秋らしくなってきました。
本日の卓話を楽しみにいたしております。

森 佳子さん

平野様今日はお忙しい中、卓話にお出まし頂き有難うございます。お話を楽しみにしております。

岡田 達雄さん

現在開催されている「スポレク宮崎2009」において、すべての会場に「エコフラッグ」が揚げられました。ありがとうございます。

中川 勉さん

国際映画祭拝見したいです。

山中 祥弘さん

平野様の卓話を楽しみにしていました。日本をイベントで元気にしたいものです。

安井 悦子さん

平野暁臣様、本日の卓話を楽しみにしております。

安間 百合子さん

平野さま、本日は、ご多用の中、ありがとうございます。「クリエイティブを束ねる」楽しみにうかがいます。

荻田 吉夫さん

秋冷の候、すばらしい気候になりました。

渡邊 滋さん

すっかり秋ですね。
「どの道も秋の夜白し草の中」 渡辺水巴

松本 智さん

先日大阪へ遠足に行きました。家内と二人、堺市の「ゲコ屋」と言う定食家さんで定食を頂き、帰りに京都で松茸を買って帰って来ました。

10月19日

合 計	61,000円
累 計	819,000円

次回のプログラム

平成 21年11月2日
卓話 『第三の人生とユーモア』
上智大学名誉教授
アルフォンス・デーケン 様

1932年ドイツ生まれ。1959年に来日、1973年にフォーダム大学大学院で哲学博士の学位を取得。以後30年にわたり、上智大学で「死の哲学」などの講義を担当。カトリック司祭。
「東京・生と死を考える会」名誉会長。

11月の例会スケジュール

- | | |
|-----|---|
| 9日 | 社団法人日本英語交流連盟
会長 松平 恒忠 様 |
| 16日 | J.フロントリテイリング株式会社
代表取締役社長兼 CEO 奥田 務 様 |
| 30日 | 歓談の日 |

10月19日の例会出席率（暫定）

例会出席者数	34名
例会出席率	69%
例会参加者数	40名

※ メーキャップを含めていない暫定の人数です。

東京六本木ロータリークラブ

会長 山中 祥弘 幹事 三田 大介

広報・週報 片岡 雅敦
委員長広報・週報 渡辺 美智子
副委員長事務局 〒106-0032東京都港区六本木6-10-3グランドハイアット東京内 TEL:03-4333-8773 URL: <http://www.tokyoroppongi-rc.jp/>